

授業科目区分	授業科目名	授業方法	単位	時間	関連の深い授業科目
専門基礎	関係法規	講義	1	30	柔道整復学全般
学科 ・ 学年	担当教員名	科目関連 実務経歴	実務経歴・分野・授業科目との関連等		
柔道整復学科 3年	南沢 悟	☐ 有 ☒ 無			
授 業 目 標 *詳細な目標は、授業の冒頭で提示					
・法規は文章の理解度で素点が変わる。プリントにて要点を押さえながら、知識を刷り込ませる。(ドリリング) ・柔道整復師法において記憶・理解しなければならない言葉を細かく砕き、理解させる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
・基本は教科書であり、教科書を読み切ることをお勧めする。 ・参考書は、要点が抜き出され、重要な言葉を読み解くことができる。その後に理解を求めることが最短での学習方法であると考える。					
教科書・参考書					
・柔道整復関係法規 全国柔道整復学校監修					
受講時留意点、その他					
【 全科目受講時共通事項 】※詳細は学生便覧受講における遵守事項参照 ●病気その他止むを得ない事由以外での欠席はしないこと。 ●授業開始5分前には所定教室で待機し、指定された席で授業を受講すること。 ●授業中は私語、および授業内容に関係のない行為は自粛すること。 ●授業中の電子機器の使用は禁止する。但し、担当教員から許可を得た場合はこの限りではない。 ●当番は授業前後の準備、整理を行うこと。教室、実習室の整理整頓、採光、換気、節電に努めること。 ※注意 授業開始時間後の入室は職員室にて「授業開始後入室における聴講申請書」を記入し、記入した用紙を担当講師に手渡して下さい。出席簿は「欠席」扱いですが、授業の聴講は許可します。 (公共交通機関遅延により遅延証明書がある場合のみ出席とみなします) 【 受講科目受講時留意点 】 ●机の上には、飲み物、食べ物をおかないこと。 ●授業中、電子機器の使用を禁止します。 ●まわりに迷惑をかけず、集団行動の中の一人として認識し、行動してください。					
成績評価方法					
評価方法	評価割合 (%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	100	定期試験(中間試験等含む)			
その他					
(合計)	100				

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
1		柔道整復師とは		/	南沢
2		柔道整復師とは②		/	南沢
3		憲法と法律について		/	南沢
4		患者の権利		/	南沢
5		免許の申請(欠格事由)		/	南沢
6		免許(再交付・取り消し		/	南沢
7		名簿(登録・訂正・消除)		/	南沢
8		免許・名簿(まとめ)		/	南沢
9		業の概念		/	南沢
10		応急手当と医師の同意		/	南沢

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
11		守秘義務・業のまとめ		/	南沢
12		業務独占・名称独占		/	南沢
13		施術所の開設・届出		/	南沢
14		試験		/	南沢
15		施術所(廃止・休止・再開) まとめ		/	南沢
				/	
				/	
				/	
				/	